

研修費（ 濱岡歳生 ）出張報告書

令和5年2月20日

氏名 濱岡歳生	研修項目 地方から考える社会保障フォーラム オンライン参加
期 間 令和5年1月23日から 令和 5年1月23日まで	研修先 自宅オンライン参加

研修概要・意見

別紙

第

27回

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム

最新の動向をつかむ / セミナー開催のご案内

2023年 1月23日(月)

講演予定講師・テーマ

「私が地方議員のみなさんにお話ししたいこと」(仮題)

香取 照幸 氏

上智大学総合人間科学部教授、(一社)未来研究所副代表理事、全世代型社会保障構築会議構成員、元アゼルバイジャン共和国駐劄日本国特命全權大使、元厚生労働省雇用均等・児童家庭局長(著書に「民主主義のための社会保障」「教養としての社会保障」などがある)

「子ども家庭行政を巡る現状と課題」(仮題)

尾崎 守正 氏

厚生労働省子ども家庭局総務課長

「新型コロナウイルス対策とワクチン、医薬品等について」

漆畑 稔 氏

(仮題)

日本薬剤師会相談役、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会理事、元厚生労働省中央社会保険医療協議会委員

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

New Price!

会場参加
定員 **60** 名

講師・参加者と
交流できる!

オンライン
からも
参加可能

さらにお求めやすく
なりました!

参加費 会場参加: 25,000円(消費税込)・オンライン参加: 5,000円(消費税込)
を1月18日(水)までにお振込みください

会場 会場: 貸会議室 AP東京丸の内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3日本生命丸の内カーテンタワー3F
TEL: 03-5224-5109 FAX: 03-5224-6109

東京・千代田・千葉・埼玉・群馬・茨城・栃木・群馬・新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・愛知・三重・滋賀・京都・大阪府・大阪府・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高松・岡山・広島・山口・福岡

申し込み オンライン参加の場合、当日はZoomのウェビナー機能を活用したセミナーを受講していただきます。ウェビナーはミーティング機能と異なり、講師の方のカメラや音声が通常ではオフになっており、ご質問時のみカメラと音声をオンにできる機能です。PC・タブレット・スマートフォンでご参加いただけます。詳しくは事務局にお問い合わせください。

<主催> 地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-11 セントラル大手町901 社保研ティラーレ内
TEL 03-6273-7772 / FAX 03-3527-1028

<協力> 財団法人社会保険研究所 / 友友企画 / 株式会社社会保険出版社 / 株式会社フィスメック



9:50~	受付開始
10:10~	開講の挨拶、オリエンテーション
10:15~11:30	講義1 「私が地方議員のみなさんにお話ししたいこと」(仮題) 香取 照幸氏 上智大学総合人間科学部教授、(一社)未来研究所臥龍代表理事、全世代型社会保障構築会議構成員、元アゼルバイジャン共和国駐劄日本国特命全權大使、元厚生労働省雇用均等・児童家庭局長
11:30~12:00	討議(30分間)
12:00~13:00	昼休み ※12:45~12:55 「第4期特定健診・特定保健指導に関する弊社の取り組みについて」協賛(株)社会保険出版社
13:00~13:40	「生きがいを見つけれない子どもたち」(株)フィスメック 白崎 哲史氏 「医療 DXをめぐる動き」(株)社会保険研究所 社会保険旬報編集部
13:40~13:45	休憩(5分間)
13:45~14:45	講義2 「子ども家庭行政を巡る現状と課題」(仮題) 尾崎 守正氏 厚生労働省子ども家庭局総務課長
14:45~15:15	討議(30分間)
15:15~15:25	休憩(10分間)
15:25~16:25	講義3 「新型コロナウイルス対策とワクチン、医薬品等について」(仮題) 漆畑 稔氏 日本薬剤師会相談役、日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会理事、元厚生労働省中央社会保険医療協議会委員
16:25~16:55	討議(30分間)
16:55~	終了の挨拶
17:00	終了

<後援> 社会保険旬報 — 医療に関わる全ての情報を提供 —

- ・ 医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
- ・ 介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
- ・ 社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。

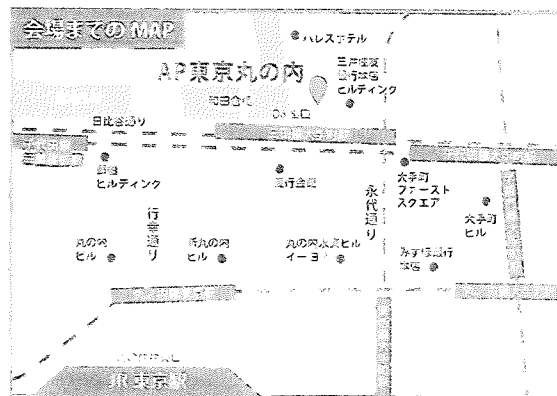
見本誌をご希望の方、購読のお申込みをしたい方は

① 社会保険研究所までご連絡ください。TEL: 03-3252-7901(代)

社名
社会保険研究所

医療・介護
https://info.shaho.co.jp/iryuu/

1972
年金時代
https://info.shaho.co.jp/nenkin/



※東京駅から徒歩6分

第27回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書

お名前	ふりがな	所属協会
ご住所	〒□□□-□□□□	電話番号
		FAX
参加の ご希望	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン (いずれかに○をつけてください)	Eメールアドレス(必須)

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内、情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 FAX 03-3527-1028 または HP <https://tirare.jp/> **セミナーお申し込み** よりお申し込みください。

※お申し込みをいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス記載のない場合は FAXにて)をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。事務局からメールが届きましたら、メールに表記の口座へ参加員をお振込みください。オンライン参加の方には追って接続方法を個別にご連絡いたします。

お問い合わせ先 TEL 03-6273-7772 ご不明な点は、左記までお問い合わせください。

プログラム概要 9:50~17:00

講義1 「私が地方議員のみなさんにお話ししたいこと」

上智大学総合人間科学部教授・一般社団法人未来研究所臥龍 代表理事

元厚生省労働省雇用均等・児童家庭局長 香取照幸氏

講義2 「子ども家庭行政をめぐる現状と課題」

厚生労働省子ども家庭局総務課長 尾崎 守正氏

講義3 「新型コロナウイルス対策とワクチン、医薬品、など

日本薬剤師会相談役 漆畑 稔氏

地方の少子化対策はここがズレている

- ・性別を理由に採用を制限することは男女雇用均等法で禁止されているため、どの企業も表向きは女性に門戸を開いています。しかし実際は、女性が応募したとしても不採用だったり事務作業しか任せられなかったりということがいまだにまかり通っているケースが少なくありません。
- ・2020年に東北活性化研究センターの検討会で、東北6県と新潟県から東京に転出経験や転出意向のある18~29歳の女性2300人に調査したところ、転出する理由の1位は「やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない」で、58.9%にのぼりました。
- ・多様な価値観をもつ人々が自由に転出・転入する中で、結果的に人口が増えているか。人口を再生産する可能性を秘めた人たちに地元に残ってもらいたいなら、その人たちが働ける場所を提供できているかどうか。実は人口問題は労働問題として考えていく必要があります。
- ・いまの40代50代が就職活動をしたころは買い手市場だったため、管理職層は、企業を選ぶほうだという感覚のままなんです。いまは売り手市場なので、地元の企業は自分に合わないと思ったら就活生はさっさと見切りをつけて別のエリアに就職します。
- ・多様な価値観をもつ人々が自由に動く時代に地元が選ばれるためには、寛容性への理解においてシビアな感覚が必要なのです。
- ・自治体はバイアスのかかった少子化対策いつまでも続けるのではなく、まずは企業の管理職層の啓発をしてほしいと思います。地方の雇用環境をつくる人たちが家族観や労働の価値観をアップデートして行動に移さない限り、人口流失を止めることは出来ないでしょう。

子ども家庭行政を巡る現状と課題

厚生労働省 子ども家庭局
尾崎 守正

本日の内容

1. こども家庭庁の設立について
2. 出産・子育て応援交付金について
3. 母子保健医療対策の推進について
4. 保育の充実等について
5. 放課後児童クラブについて
6. 児童虐待防止対策の強化について
7. 改正児童福祉法の施行について
8. 子ども予算の倍増に向けて